

報道関係者各位

2017年10月5日
ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社

ビジネスの新常識?! 「出張こそが成功の鍵」 ブッキング・ドットコムが、日本を含む24カ国を対象にした 職種別の「出張」と「旅行」に関する調査結果を発表!



[2017年10月5日：日本発表] 世界最大のオンライン宿泊予約サイト Booking.com (ブッキング・ドットコム) の日本法人 ブッキング・ドットコム・ジャパン株式会社(本社：東京都港区 代表：アダム・ブラウステイン 以下：ブッキング・ドットコム)は、1万7,000人を対象に職種がどのように出張および、旅行に対する考え方に影響をもたらしているかについて調査をしました。出張はどの職種においても、自身の成長やビジネスにおける成功にかかせないものとして考えている人が多くいる一方、職種によっては出張の捉え方が異なることが分かりました。

本調査は、ブッキング・ドットコムが展開する、出張予約サイト、Booking.com for Business(ブッキング・ドットコム・フォー・ビジネス)が、日本を含む24ヶ国、1万7,000人を対象に実施いたしました。

<ブッキング・ドットコムの調査結果ハイライト>

- 職種を問わず多くの人が、自分の職種上の成長や目標達成のための機会として出張を捉えており、37%の人が仕事のインスピレーションを、36%の人が新しいスキルを学ぶ機会を出張に求めている
- 半数以上の人(51%)が、出張中に余暇の時間をとることで、会議などでの生産性が高まると考え、日本人の49%も同様と回答しています。
- 「Booking.com for Business」における最新の調査で、仕事の成功に出張が与える影響をどのように捉えているかについて、異なる職種間の共通点と違いが明らかになりました。

出張は、現代のビジネスにおいて成功を収める上でほぼ必須と言ってもいいほど重要なものです。出張は企業にポジティブな影響を及ぼすだけでなく、社員にとっても見聞を広め、ポテンシャルを最大限に実現する良い機会になります。世界の出張経験者のうち60%の人が「新しい文化や土地を体験することは、自分の仕事の価値を向上させる」と感じており、特に「旅行・観光」(69%)、「経営コンサルタント」(68%)、「建築・デザイン」(65%)などの分野で働くビジネスパーソンの間でこの傾向が顕著であることがわかりました。

■出張は「成長の機会」

「出張で達成したい目的はなんですか？」という質問に対して、世界のほぼ半数の人(46%)が「会社の業績を成長させること」と答えています。また、職種別により掘り下げて見てみると、個人またはプロフェッショナルとしての成長に関するさまざまな目的を持っていることがわかります。

出張で達成したい目的 (世界)	
会社の業績を成長させること	46%
仕事に役立つインスピレーションを得たい	37%
同僚やクライアントと時間を過ごして、仕事上の人間関係を強化したい	36%

- 「仕事に役立つインスピレーションを得たい」と答えた人の職種別の割合は、「社会福祉」で45%、「芸術・文化」で43%、「教育」で41%、「通信・メディア」で41%。(全体平均では37%)
- 「同僚やクライアントと時間を過ごして、仕事上の人間関係を強化したい」と答えた人が多かったのは、「慈善事業・NGO」(50%)。(全体平均では36%)
- 「軍隊」および「教育」関係では、41%の人が「仕事に役立つ新しいスキルを学びたい」と回答。(全体平均では36%)
- 「旅先の文化と、その文化がビジネスに及ぼしうるインパクトについて理解したい」と答えた人は、「旅行・観光」で39%、「経営コンサルタント」で37%、「建築・デザイン」で36%でした。(全体平均では30%)

一方、日本人のデータを見ると世界の平均より全体が低く、以下の結果となりました。

出張で達成したい目的 (日本)	
会社の業績を成長させること	35%
現地の文化がどうビジネスに影響があるかを学ぶため	31%
仕事に役立つ新しいスキルを学ぶため	29%

- 日本の銀行員の39%が「ルーティン化している仕事からの気分転換」と回答。(日本人の平均では20%)。
- 日本の製造業および物流業界の48%が「会社の業績を成長させること」と回答。(日本人の平均では35%)。

■キャリア上の成功にも貢献

全体で半数の人(51%)が、出張中、勤務時間外に旅先での時間を楽しむことができると、会議等での生産性が高まると感じており、特に「経営コンサルタント」(58%)と「建築・デザイン」(57%)でこの傾向が顕著でした。一方、出張中の勤務時間外に旅先で楽しむことで会議等での生産性が高まると感じている日本人の割合は、わずか27%のみで出張中も「仕事モード」が抜けていない日本人が多いということが分かりました。

最新テクノロジーによってリアルタイムでの通信がますます手軽になっている現代においても、ビジネスにおける対面でのコミュニケーションの価値は薄れてはいません。全体で66%の人が、「クライアントや社内関係者のもとに直接出向いて対面で話をすることが、ビジネスでの成功において欠かせない」と答えています。特に、「経営コンサルタント」(78%)、「製造」(71%)、「建設・工学」(70%)、「農業・畜産業」(70%)でこの点が重要視されています。

■平均とは異なる、職種別で判明した「旅行へ行く目的」

日本の調査対象者からの結果によると、旅行に行く目的のトップ3は下記の結果になりました。想定内の結果にも見受けられますが、職種によっては全体の平均と比べ旅行へ行く目的に『差』があることが分かりました。

旅行へ行く目的 (日本)	
美味しい食事	47%
家族との時間	37%
一人旅	35%

- 日本の銀行員の 25%は『お祭りや、イベント』を目的に旅に出かけると回答。(日本人の平均では 15%)
- 日本の医療系の職種は、38%の人が、『買い物』を目的に旅に出かけると回答。(日本人の平均では 27%)
- 日本の接客および、販売員の 40%は、『究極のくつろぎ』を目的に旅に出かけると回答。(日本人の平均では 31%)

■成功の鍵は、出張に適した宿泊施設を選ぶこと

出張のポテンシャルを最大化するうえで重要なのが、目的に適った宿泊施設を選ぶことです。全体の 60%が、「出張に特化したサービスや設備を提供している宿泊施設を選ぶ」と答えています。

出張の宿泊先に求める設備としてもっとも人気が高かったのは、「寝心地の良いベッド」と「通信状態の良い WiFi」(いずれも 52%)、次が「ボリューム満点の朝食」(38%)、そして「無料の送迎またはシャトルサービス」(27%)でした。また、1 泊の出張での滞在先を選ぶ際にもっとも重視されるのは「ロケーション」で、特に「会議などの開催場所にアクセスが良い」(47%)ことや、「市内中心部にある」(29%)ことが条件に挙がりました。

世界全体の職種別に人気のある宿泊施設タイプは、下記のとおりでした。

- 「建築・デザイン」分野の出張者には、ブティック・ホテル(全体平均 13%に対して 23%)人気でした。また、ハイテク機器を駆使した宿泊施設も、この分野の出張者に好まれています(全体平均 18%に対して 24%)。
- 企業による出張管理が厳しくなっているためか、高級ホテルやラグジュアリー・ホテルを選んだ人の割合は 20%と低くなりました。比較的人気が高かったのは、「経営コンサルタント」(26%)、「金融・ファイナンス」(24%)でした。
- 「農業・畜産業」分野では、「地元の魅力が感じられる宿泊施設」を選ぶ人が他より多く見られました(全体平均 13%に対して 19%)。

出張に適したさまざまな宿泊施設を簡単に検索できるブッキング・ドットコムサイト上にある、「Booking.com for Business」では、特定の職種に特有の傾向や、出張の目的、あるいは個人的なライフスタイルなど多種多様なニーズがある中で、すべての出張者が理想の宿泊先を見つけるためのお手伝いをします。

ブッキング・ドットコム・フォー・ビジネス製品開発部門シニア・ディレクターの Ripsy Bandourian (リップシー・バンドリアン)は、次のように述べています。

「グローバル化が進み、さらにインターネットを通してすべてがつながっている今日の世界では、旅行を通して旅先の文化を経験し自分の視野を広げることが、キャリアで成功をおさめる上で重要になってきています。職種にかかわらず、現代の出張者は ロケーションや日程変更の柔軟さ、設備など、具体的なニーズとプライオリティに応えてくれる宿泊施設を探しています。ブッキング・ドットコムでは、何百万人もの出張利用者のデータやクチコミを分析することで、他の出張者がおすすめしている宿泊施設を簡単に見つけられるプラットフォームを提供しています。会社の出張ポリシーを遵守しながら、ユーザーがより柔軟に、自由に、出張をカスタマイズして、その価値を最大化することができるはずです。」

日本におけるブッキング・ドットコム

2009 年に渋谷に最初のオフィスを開設。現在約 350 名以上の従業員が日本国内のオフィスで働いており、内 200 名以上がインハウスのカスタマーサービスのスタッフです。国内に、6 つのオフィス(東京に 2 ヶ所、大阪、福岡、札幌、沖縄)があります。現在、国内では約 14,000 軒以上の宿泊施設の予約が可能(2017 年 8 月時点)です。

ブッキング・ドットコムについて

1996年にアムステルダムにて設立されたブッキング・ドットコムは、オランダの小さなスタートアップ企業から、世界最大のオンライン宿泊予約サイトに成長しました。プライスライングループ(NASDAQ:PCLN)の一部であるブッキング・ドットコムは現在、世界70カ国・204のオフィスを設け、15,000人以上の従業員が所属しています。世界中人々に世界を体験していただくことを使命とし、気軽な旅を実現できるよう、最新の技術を取り入れています。ブッキング・ドットコムでは、アパートメント、家族経営のB&B(ベッド&ブレイクファスト)スタイルの施設から、5つ星の高級リゾート、ツリーハウス、さらにはイグルーに至るまで、世界最大の宿泊施設数を提供しています。ブッキング・ドットコムのウェブサイトとモバイルアプリは、43の言語で利用でき、世界140万軒以上の施設を、227ヶ国と地域で11万以上の都市で提供しています。毎日、150万部屋以上が予約されており、お客様は24時間いつでも43の言語でサポートを受けることができます。ビジネスやレジャー等の用途に限らず、ブッキング・ドットコムで簡単に理想的な宿泊施設の予約が無料で行えます。

1996年に設立した、Booking.com B.V.はBooking.com™(<http://www.booking.com>)の運営会社で、The Priceline Group(NASDAQ:PCLN)グループのメンバーです。さらに詳しい情報は、<http://www.booking.com>をご参照ください。また、Twitter、Instagram、Facebookの公式アカウントを開設しています。